

はじめに

英語教育センター長 山岡賢三

平素は樟蔭学園英語教育センターの諸活動にご支援ご協力を賜り、ありがとうございます。お陰様で当センターが設立されてから8年が経ち、昨年度センター利用者が1万4千人を越えました。今年度も昨年度と同様に英語学習に熱心な学生・生徒でにぎわっています。当センターにお立ち寄りの節には、英語学習に熱心に取り組んでいる彼女たちの様子をご覧いただければと存じます。

ところで、私は平成28年度より初代安藤公仁センター長の後を継ぎ二代目センター長を拝命しました。初代の「英語が使える女性の育成」という設立のご意志を大切に守りながら、学生・生徒が将来「英語が使える」女性として様々な分野で活用できるよう、今後とも幅広い学習支援を提供して参ります。

さて、英語教育は、小中高連携、CAN-DOリスト、入試改革、英語の授業は英語で、学力の3要素など、いろいろなことが求められています。このような時期だからこそ、授業づくりで大切なことを冷静に考える機会が必要です。そこで、平成28年9月10日に、太田 洋先生（東京家政大学人文学部英語コミュニケーション学科教授、元NHKラジオ英語講座講師）をお招きし、『変わる英語教育?! — 英語の授業づくりで大切なこと —』というテーマでワークショップを開催いたしました。参加された方々と授業づくりを見直し、よりよいものにしていく方法を一緒に考えるワークショップになりました。また、学園の英語科教員、近隣の英語教育関係者だけでなく、将来英語教員を目指す大学生や大学院生も参加し、太田先生を交えて英語教育について真剣に考える機会となりました。

今後、英語教育センターが学園の英語教育の一層の充実を図るとともに、広く英語教育関係者のお役に立てるよう努力してまいります。